

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立玉川小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、学校教育目標を「互いに認め合う子、自ら考える子、挑戦する子をはぐくむ」と掲げ、知・徳・体のバランスの取れた教育活動を推進している。

【児童の生活面での様子から】

全国学力・学習状況調査の児童質問紙における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合は年々高くなり、昨年度は大阪府・全国平均を上回った。

しかし、令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は目標を下回っており、高学年になるにつれ肯定的な割合は下がってきている。また、児童アンケートにおける「学校生活のルールやマナーを守っている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合は高いが、自分本位な行動をしてしまってマナーを守れない場面もみられる。児童の内面をよりよく見つけ、より適切で良好な人間関係づくりが喫緊の課題となっている。

【児童の学力・体力面での様子から】

学力面においては、全国学力・学習状況調査の全国平均・大阪府平均を上回る高い正答率を維持している。基礎的な知識は定着しているが、「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き方を工夫すること」や「言葉を用いて記述したり、表現できるようにする」など基礎的な力を用いて自分の考えを表現することが課題である。

体力面においては、全国体力・運動能、運動習慣等調査において男女とも「瞬発性」や「敏捷性」「持久力」にはある一定の体力指数がみられた。ダッシュタイムや玉川パークランなどこれまでの取り組みにより体力の向上がみられている。今後は、体を動かす楽しさを味わい、自ら目標をもって取り組む力を育成していく。

【児童を取り巻く教育環境の様子から】

昨年度より児童の学習者用端末の持ち帰りやチャレンジタイムにおけるデジタルドリルの活用が定着してきた。しかし、授業日における児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数は目標を大きく下回っており日常的な活用が課題である。

また、教職員の健康面と仕事との両立を考えた働きやすい職場環境を充実させるため、ゆとりの日の設定を工夫し、教育環境の充実を図っていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。
(令和7年度 肯定的な回答79%)
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(令和7年度の経年調査「自分には、よいところがあると思いますか。」の肯定的な回答82%)
- 小学校学力経年調査における「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
(令和7年度の経年調査「自分とちがう考えの人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかを分かろうとしていますか。」の肯定的な回答88%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
(令和7年度の経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の肯定的な回答78%)
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
(令和7年度の経年調査「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」の肯定的な回答89%)
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
(令和7年度の経年調査「朝食を毎日食べていますか。」の肯定的な回答92%、「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか。」の肯定的な回答80%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を72%以上にする。
(令和7年度の経年調査「授業でパソコンをどれくらい使っていますか。」週3回以上の回答63%)
- 時間外勤務時間について、年間720時間を超える教員をゼロにする。
(令和7年度の年720時間を超えている教員3.4%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
(前年度 肯定的な回答 79%)
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
(前年度の経年調査「自分には、よいところがあると思いますか。」の肯定的な回答 82%)
- 学校アンケート「学校のルールや学校生活のルールやマナーを守っている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。
(前年度の学校アンケート「学校学級のきまりや時間を守っている」の肯定的な回答 94%)
- 小学校学力経年調査における「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
(前年度の経年調査「自分とちがう考えの人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかを分かっていていますか。」の肯定的な回答 88%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。
(前年度の経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の肯定的な回答 78%)
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
(前年度の経年調査「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」の肯定的な回答 89%)
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。
(前年度の経年調査「朝食を毎日食べていますか。」の肯定的な回答 92%、「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか。」の肯定的な回答 80%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。
(前年度の経年調査「授業でパソコンをどれくらい使っていますか。」週3回以上の回答63%)
- 時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。
(前年度の年720時間を超えている教員3.4%)
- 児童アンケートにおける「読書が好きである」の項目について、肯定的な回答をした児童の割合を76%以上にする。
(前年度の学校アンケート「読書は好きである。」の肯定的な回答75%)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪府立 (学校園名) 令和 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標Ⅰ 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。</p> <p>○ 学校アンケート「学校のルールや学校生活のルールやマナーを守っている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 95%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはようタイムや生活班での活動を通じて、異学年交流を図り、児童が仲良く楽しむことができるようにする。 ・玉川小学校「学校安心ルール」を教室に掲示して、子ども自ら律することができる力の育成を目指し、子ども同士、声を掛け合える関係作りを促す。 ・児童会を中心にルールやマナーの啓発活動を行う。 	
<p>指標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>○ 学校アンケート「学校のルールや学校生活のルールやマナーを守っている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 95%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個や集団に応じた道徳教材や人権教育を通じて、児童が自分のよさに気づくことができるようにする。 ・児童一人ひとりを理解するために、学年間や職員で児童に関する配慮すべき点を共有し、居心地の良い学び場を作る。 	
<p>指標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。</p>	

<p>る。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 89%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学習の中で自分の意見をもち、発言する活動を積極的に取り入れるとともに、周りの意見を聞いたり、交流したりすることで、伝える力を養う。</p>	
<p>指標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。</p> <p>○ 児童アンケート「自分の意見をもち、まわりの友だちと伝えあっている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>・すこやかな体の育成を目指し、食や健康に関する指導や強調週間の実施、委員会児童による啓発活動を通して規則正しい生活の定着を図る。また、玉川パークランや大縄などの活動や体育の授業づくりの向上を進め、児童の運動への関心を向上させる。</p>	
<p>指標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立玉川小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。 ○ 時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。 ○ 児童アンケートにおける「読書が好きである」の項目について、肯定的な回答をした児童の割合を76%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や家庭学習でデジタルドリルや google workspace などを活用し、情報処理能力や使用頻度の向上を図る。 ・教員向けの校内研修を実施し、授業でも活用できるようにする。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。 ○ 児童アンケートにおける「授業や家庭で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を週に1回設定・実施し、定時に退勤する。 ・超過勤務は1日3時間以内とする。 ・プリントの印刷や宿題の確認などの業務をSSSにお願いし、業務の軽減を図る。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書貯金通帳をつけたり、図書館開放、読み聞かせ等をしたり、読書タイムの設定をしたりするなど、読書活動の充実を図る。 ・学校司書との連携を図り、学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行うとともに、図書室の利用のルールを各学級で再徹底する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童アンケートにおける「学校や家庭で週2時間以上読書をしている」の項目について、肯定的な回答をした児童の割合を76%以上にする。 ○ 児童アンケートにおける「読書が好きである」の項目について、肯定的な回答をした児童の割合を76%以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点